SDGs未来都市としま

セーフコミュニティ
国際認証都市・豊島区

TOSHIMA
International City
of Arts & Culture

豊島区は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

としま区制90周年

# 豊島区の社会福祉

令 和 4 年 版

福祉のまちづくりシンボルマーク

## 豊 島 区
## 保健福祉部・子ども家庭部

# はじめに

人口減少、少子高齢化が急速に進展するなか、地域住民が抱える福祉、医療、健康に対するニーズは、多様化しています。

また、ダブルケアや引きこもり、8050 問題など、さまざまな分野の課題が複雑に絡み合うことで、複合的な支援が必要になる状況が多く見られるようになり、対象者別・機能別に整備された従来の公的支援のみでは、これらの複合的な課題や制度の狭間への対応が困難になりつつあります。

こうした厳しい状況のなか、長引く新型コロナウイルス感染症の影響が地域社会にさらなる影を落としつつあります。感染により、重篤化しやすい高齢者が利用する施設などでは、感染拡大やクラスターの発生を防ぎ、「命を守る」ための懸命な対策が続く一方で、コロナ禍により、解雇や自殺者、DV 相談の増加など、女性や子どもをめぐる様々な課題も顕在化してきました。

本区では、若年女性を取り巻くこれらの課題に時機を逸することなく対応するため、令和３年１月に、保健、福祉、教育、人権など、幅広い部局で構成される横断的な「すずらんスマイルプロジェクト」を立ち上げました。支援に関わる部署が組織横断的に集結し、NPO などの民間支援団体との連携を強化することで、生きづらさを抱えた若い世代の女性が行政や民間の支援につながるよう、情報発信や支援団体との連携事業を展開しています。

また、子育て分野では、波状的に繰り返される感染症の影響により、子育て家庭が孤立することのないよう、地域の民間団体とのネットワークを活かし、食品などの提供を通じて、子どもの安全確認と見守りを行う新たな事業を実施しています。

令和５年２月に開設する児童相談所は、準備が順調に進んでおり、健康づくりや母子保健の専門機関である「長崎健康相談所」との複合施設として整備することで、「子どもを守るプロ」と「健康を守るプロ」が一体となった地域に根差したサービスを強力に展開していきます。

さらに、７月には、ひきこもり対策として、「ひきこもり相談窓口」を設置し、来庁のほか、電話やメールでの相談を開始しました。学識経験者や専門家、支援団体、当事者の皆さんのそれぞれの意見をお聞きし、組織を横断したれ連携体制のもと、総力を挙げて、ひきこもりの当事者やご家族に寄り添った支援に取り組んでいます。

この「豊島区の社会福祉」は、本区における福祉関連分野について、事業概要やこれまでの推移を取りまとめたものです。

本区の保健福祉関連施策の現状をご理解いただくための一助として、広くご活用いただければ幸いです。

令和４年９月

豊島区 保健福祉部

子ども家庭部

# 目　　次

保健福祉部・子ども家庭部の概要…… 5
児　童　福　祉…… 15
ひとり親福祉 …… 47
女　性　福　祉…… 57
高齢者福祉…… 61
障害者福祉…… 101
低所得者層の福祉 …… 151
地　域　福　祉…… 169
社　会　保　障…… 179
住　宅　福　祉…… 227
その他の福祉…… 233
青少年健全育成…… 239
男女共同参画社会の実現…… 245
民　間　の　協　力…… 251
事業別財源負担割合の状況…… 275